

授業科目 経営戦略論

【担当教員名】 丸山 一芳		対象学年	3	対象学科	情報
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○			
【概要】 「企業や組織の将来像とそれを達成するための道筋」として本講義では経営戦略をとらえていく。つまり、企業組織が事業活動を通じて希少資源を動員しながらマーケットにおいて目標をいかに実現するのかについて学習する。なお、本講義は経営戦略に関する基礎的な知識を学ぶためのものである。したがって、経営戦略を考える上で基礎となる概念や枠組みなどを概説するとともに、具体的な事例の紹介やケースディスカッションなどもまじえながら、現実の問題への応用も視野に入れて理解する。また、一般企業だけでなく医療や福祉に関する組織を事例として学ぶ。すなわち、理論を用いて企業を分析する力や、実際に経営することを構想する力の基本を身につけることを目的とする。					
【学習目標】 経営戦略の全体像を理解するために、次のような項目についての基礎的な理解を習得する。 1) 競争戦略論 2) 資源ベースの戦略論 3) 戦略論の事例への応用					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	経営戦略論の概要、講義の進め方や成績評価方法に関するオリエンテーション				
2	経営戦略論の理論的発展史				
3	SCPパラダイム				
4	競争戦略論（業界構造分析ほか）				
5	競争戦略論に関する事例研究				
6	競争戦略論に関するグループワーク				
7	競争戦略論に関するまとめ（ポーターの理論ほか）				
8	資源ベースの戦略論1（バーニーの理論ほか）				
9	資源ベースの戦略論2（ハメルとブラハラッドの理論ほか）				
10	資源ベースの戦略論に関する事例研究				
11	資源ベースの戦略に関するグループワーク				
12	資源ベースの戦略論に関するまとめ				
13	知識創造型経営				
14	医療福祉組織と経営戦略				
15	経営戦略論のまとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		経営戦略—論理性・創造性・社会性の追求（有斐 大滝精一 他 有斐閣			2006・1,995円
		経営戦略の論理〈第4版〉—ダイナミック適合と 伊丹敬之 日本経済新聞社			2012・2,100円
その他の資料		プリント配布			
【評価方法】 講義貢献（発言・質問）10%、レポート20%、グループワーク20%、期末テスト50%の配分で総合評価する。			【履修上の留意点】 ・講義資料を中心に授業を行う。 ・その時々々の時事問題についても解説するので、日本経済新聞等の経済・経営に関する新聞・雑誌を読んできて欲しい。 ・毎回、質問と討議の機会を設けるので随時発言して欲しい。		